



市内には28の地域自治区があります。このコーナーでは、各区におけるキラリと輝く市民活動や旬の催し情報などを順に紹介していきます。

地域自治区の情報は、エフエム上越(FM局76.1MHz)のラジオ番組「自治区だより(月～金曜日の午後1時38分、祝日休み)」でも聴くことができます。

感想や情報を広報対話課(☎025-526-5111、内線1426、FAX025-526-6111、■koho@city.joetsu.lg.jp)へお寄せください。

◇保倉区トピックス◇

保倉区では、運動を通じて、健康増進や世代間の交流を図ることなどを目的に、「体育大会」「球技大会」などが行われています。

また、毎年夏に実施している「早朝ラジオ体操」では、地区の住民が一同に集まり、明るく元気に体を動かしています。



「剣の舞」(写真:『グラフにいがた』(昭和58年9月号)より引用)

地域の伝統を受け継ぐと、昨年、「青野芸能保存会」が約30年ぶりに復活しました。きっかけは、保倉小学校の「地域の宝」に関する学習の中で、子どもたちが青野地域で行われていた伝統芸能「剣の舞」を知ったことからでした。

「剣の舞は、昭和初期に現在の三和区水吉から青野に伝わりました。踊りは、刀と錫を持ち、錫を刀で受け止めるような動きをします」と話すのは、青野芸能保存会会長の渡邊隆雄さんです。「かつて

地域の宝を復活  
青野芸能保存会の「剣の舞」



「剣の舞」で使用する刀や錫など

篠笛の練習もして、最近ようやく音がなるようになりま

います。踊りのほか、うちの剣の舞を教えたいと小学校から地域に相談が寄せられました。「当時の踊りの経験者などと話し合い、子どもたちへ教えるとともに、伝統を継承するため、保存会を再結成することにしました。現在は月3回程度練習しています。



青野芸能保存会の皆さん

した」と苦笑い。「昨年、小学校の文化祭で子どもたちが剣の舞を披露しました。地域に郷土芸能があるのは素晴らしいことです。子どもたちに受け継いでもらい、地域の活性化につながってほしいです」と期待を込めます。



紹介者 渡邊 隆雄さん

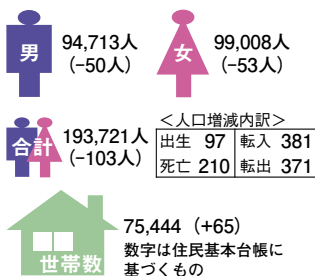
今後の活動目標を尋ねると、「まずは練習を積み重ね、伝統を受け継ぎ、いずれは市民芸能祭への出演、そして、無形民俗文化財への登録を目指したいです」と決意を語ってくれました。

広報対話課から (☎025-526-5111)

●「広報上越9月15日号」は、9月13日(土)・14日(日)に各町内会へお届けし、各世帯にお配りします。届かない世帯の人は、広報対話課または、各総合事務所へご連絡ください。

上越市の人口・世帯数

平成30.8.1現在( )は先月との比較



表紙のことは: 楽しく学ぶ 防災教室

8月3日、板倉区の地すべり資料館で、「夏休み自由研究 親子防災教室」(地すべり資料館運営協議会主催)が開催されました。小学校低学年の児童とその親子が対象で、地震によって地面が沼のようになってしまう「液化化」について、まちなかの建物や車が傾いて沈んだり、地中のマンホールが浮かんできたりする実験などが行われました。参加した子どもたちは楽しみながら防災について学んでいました。

No.1064

平成30年9月1日発行

観光情報発信中!!  
<http://joetsukanonavi.jp/>

編集 943・8601 上越市総務管理部広報対話課  
〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3  
有線(JHK) 5-111  
☎025-526-5111